

「世界にたったひとつの奈良」の実現に向けて

サラリーマン横井の活動をお伝えします

よこいレポート

# YOKOI Report

奈良市議会議員の横井雄一でございます。

「サラリーマンが普通に政治に参画できる奈良」の実現を目指し、

小さなことから少しづつ、いつもみなさんの身近にいる

政治家として活動してまいります。

奈良市議会議員 横井雄一 議会レポート vol. 28

令和5年5月1日 発行/横井雄一事務所  
〒630-8301 奈良市高畠町51-10  
TEL 090-1598-4519 FAX 0742-23-0860



4期目活動中です!!

## みんなさんの声を議会で質問しました

### ① 近鉄奈良の駅前広場の再整備は進んでいるのか!

令和5年3月議会

#### 経緯

奈良県主導で進められており、奈良市も協力している。令和2年9月に「まちづくり勉強会」が発足。その後3回ほど開催されただけで、再整備の方針はまったく示されない。現在の広場にあるバス・タクシーのりば、駐輪場など都市機能は存続するのか…。



横井の質問

再整備の進捗が滞っているように思われるが、進むのか。

#### 仲川市長の答え

- ・県が考えた案に駅利用者等の意見が反映されていなかったという指摘があり、再検討中と聴いている。
- ・交通事業者等との協議も必要で、駐輪場の確保など懸案事項がある。引き続き協議する必要がある。

#### さらに要望

奈良市は駅前の一定の土地所有者。また、駅利用者の多くは奈良市民である。県に対し、忠告すべきはするように!

### ② 針テラスの再整備の方針は。

令和4年12月議会

#### 経緯

令和4年10月、所有権をめぐって争っていた裁判は和解により決着。北館の所有権を得て、再整備スタートの環境は整った。4年度は調査会社に依頼し、再整備に関心を持つ事業者からアイデアを聞き取り、方向性を検討しているところであった…。



横井の質問

立地特性や発端となった「大和高原 新都市構想」の思いも汲んで、再整備の方針を示してほしい。

#### 総務部長の答え

地域の持つ魅力を活用・発信し、「針テラス自体が目的地」「大和高原エリアの玄関口」となるよう進める。5年度に公募型プロポーザルを行い、事業者を決定したい。

#### さらに意見

奈良市の、都祁の農産物をふんだんに取り入れた物販スペースを持ち、地域の生活拠点としての機能はぜひ持っていただきたい。事業者選びは、奈良市の方針をよく理解し、責任をもって市と並走できるパートナーを選んでいただきたい。

## ③ 世界遺産登録25周年の取組は。

令和4年12月議会

## 経緯

1998年に、春日山原始林・春日大社・東大寺・興福寺・元興寺・薬師寺・唐招提寺・平城宮跡の8つの資産群がユネスコの世界遺産に登録された。2023年は登録25周年を迎える、8つの資産群の優位性を生かして、奈良観光のための新しい取り組みが期待されていた…。



横井の質問

これら社寺等を一日で廻るのは困難。奈良での滞在時間・日数を増やすことができる持続可能な策が望まれるが、検討しているのか。

## 仲川市長の答え

例えば、社寺の共通拝観券やシンポジウムなど、奈良市観光協会と検討を進めている。地域の事業者と連携し展開を図りたい。

## さらに要望

奈良市観光協会と手を携えて、25周年を機に持続可能な企画を育てていただきたい。

**5年度 予算化決定!** → 社寺共通拝観券等、「古都奈良の文化財」世界遺産登録25周年事業に6,300万円決定!

## ④ 防災訓練はとても充実していました!

令和4年11月 総務委員会

## 経緯

令和4年10月30日は全市いっせい防災訓練が開催された。市内64カ所で市民6,450人、市職員等3,300人の合計1万人が参加。佐保川小・大安寺西小・西大寺北小を重点会場として特別な企画もあった。地元・飛鳥小学校では飛鳥地区の防災訓練も盛大に行われた…。



横井の質問

- ①3か所の重点会場で行われた訓練をどう評価しているのか。
- ②新しい試みとして、救護所、福祉避難所、災害ボランティアセンターを一力ずつ設けたが、本番で機能できそうか。

## 危機管理課長の答え

- ①佐保川小学校ではドクターヘリの運航、大安寺西小では防災指導車による起震等の体験、西大寺北小では県の防災ヘリによる上空偵察等を行い、防災減災意識の高める努力をした。
- ②実施後の検証はこれから。議論したうえで今後につなげたい。

## さらに意見

飛鳥地区の防災訓練は、地域だけで準備できる最大限の企画で、とても充実していた。他会場の状況も知れるよう情報交換できるようにしてほしい。また、今後は重点会場を別の場所にすることも検討いただきたい。

## ⑤ 市の外郭団体は自立できるのか。(特に 奈良市総合財団) 令和5年1月総務委員会

## 経緯

奈良市総合財団は、かつてあった7つの財団等を統合して、平成23年度に発足。38カ所の市の施設を財団単独で指定管理者(※)として活躍しているが、昨年、ある施設の管理者公募で民間企業の共同体に敗れた。昨年から理事長を常勤とし、競争が激しい時代、自立と新たな事業領域への進出が期待されている…。



横井の質問

- ①指定管理者の公募に勝つため、ケースによっては、民間事業者とタッグを組んで取りに行っては。
- ②財団のノウハウを生かし、奈良市の施設だけでなく、市外・県外の仕事も取りに行くべきでは。

## 財政課長の答え

財団が経営の自立化を達成するため、民間事業者とタッグを組むこと、奈良市以外の施設の指定管理を目指すことは有効な手段である。

※指定管理者(制度)とは…多様化する住民ニーズに対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図ることを目的とする。平成15年9月の法改正で制度ができ、民間事業者、NPO、ボランティア団体等が施設管理を行うことができるようになった。

## さらに意見

- ①自立してもらうため、時期をみて、奈良市から財団への補助をやめることも必要である。
- ②理事長を常勤に据えたことは評価するが、一人では何もできない。企画・戦略部隊を置くよう財団の体制づくりに力を入れてほしい。

**5年度予算に反映!** → 奈良市総合財団への運営補助金6,200万円は廃止決定!



## ⑥ 街路樹の落葉、最善の対策は。

令和5年3月議会

### 経緯

市内には街路樹が整備された道があり、緑が維持されることは好ましい。しかし、日常の落ち葉そうじは近隣住民が自主的に行つており、高齢化・人口減少等の時代、地域で面倒を見ることが難しくなっている。一方で、秋の紅葉を楽しみたい声も根強い…。



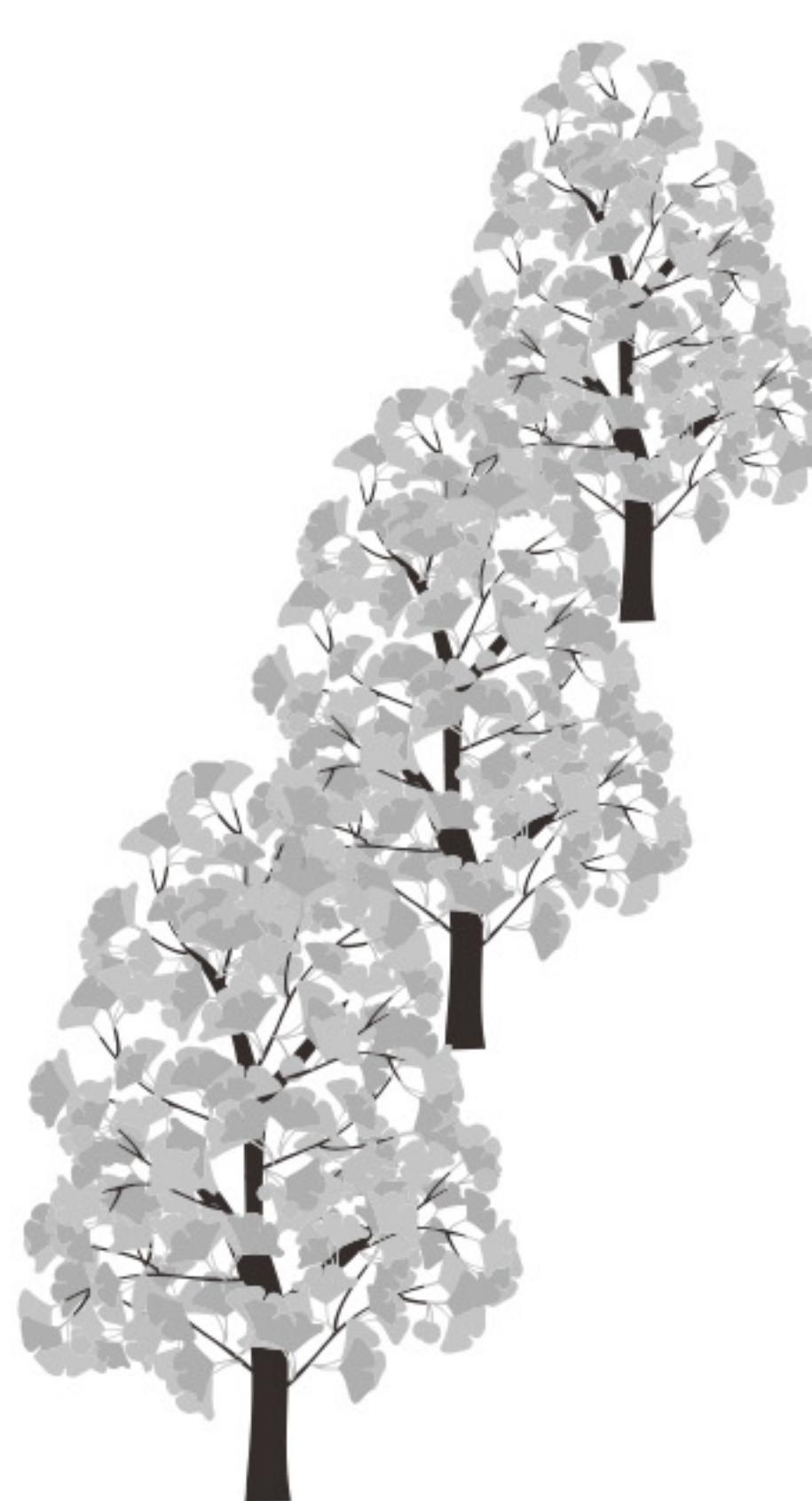
「落ち葉そうじは大変だが、紅葉を楽しみたい」という声は根強い。落葉前に強剪定<sup>(※)</sup>するか、紅葉が終わってから重労働でもそうじするか、の選択ではなく、並木道のエリアによっては、落ち葉そうじを行政が助けるべきでは。

### 建設部長の答え

景観を重視し、紅葉後の剪定を要望される地域については、自治会等と協議し、沿線にお住いの方のご意見を伺いながら、地域の方と協働して取り組む方法を検討する。

※強剪定……太い枝を短く切りつめたり、多くの枝や芽を切り落とすような剪定のこと。

## 特集 『紅葉を楽しむか、落ち葉そうじの労から逃れるか』



街を彩るキレイな並木道。秋になればあちこちで紅葉を楽しむことができます。一方で、その落葉をそうじすることは市民にとって大きな負担です。「紅葉は楽しみたい。でも、落ち葉そうじはしんどい」、本音だと思います。

市役所担当課(道路維持課)によれば、今は「落ち葉そうじはしんどい」との声が圧倒的に多いとのことで、紅葉する前に枝葉を伐採してしまうケースも多いのが現状だそうです。

観光地の近くでは秋の紅葉がすばらしい並木道があり、観光客も住民も楽しむことができるよう、良い解決策はないのかというお声をいただいている。

そのような状況の中、市と住民との協働によって、「紅葉も楽しんで、少しだけ落ち葉そうじをする」というしくみを作れないものか、模索しています。



### 今の潮流

木々が紅葉する前に枝葉を伐採する  
落ち葉掃除をしないでよい  
だけど、紅葉は楽しめない



### 目指す方向

### 木々の紅葉を楽しむ(早期に伐採しない)

### 例えば

落ち葉を車道まで掃きだす 地域の力  
落ち葉を市が清掃車等で掃除する 市の力

### 市と地域の協働で、紅葉を楽しむ

ぜひ、ご意見お聞かせください。→  yokoi-y@kcn.jp

## 議会での役職【昨年から引き続き務めています】

- 総務委員会 委員（令和4年6月から1年間）……………危機管理、総合的な政策企画、人事、財務、文書、契約業務、税務全般の事務を調査する役目です。
- 広報広聴委員会 委員（令和4年6月から1年間）……………議会だより発行、議会報告会の企画実施を担当します。
- 奈良市監査委員（令和4年7月1日から令和5年6月30日）……税金が正しく、また効率的に使われているかどうか、市の予算執行や契約等の財務に関する事務の執行や経営にかかる事業の管理について監査します。  
平成27年～28年に続き、2度目の就任です。

# 取組みの成果が出でました！

## 手話通訳者の待遇改善へ前進！

ろう者の情報保障に10年来取り組んでいます。その中で、手話通訳者の待遇改善も大きなテーマです。奈良市の待遇は中核市の中で最低クラスでした。この数年にわたり特に取り組んできた、「障がい福祉課に常時設置の手話通訳者の給与」、「派遣による手話通訳者の時間報酬単価」、「要約筆記者の時間報酬単価」は大きく改善しました。

予算化決定！

## 法律相談事業(弁護士)の予算が増加し、相談枠が増えました！

市民の相談を弁護士さんが受け、解決する「法律相談事業」。近年の相談件数は年間1,000件を超える相談枠は満杯状態であったため、昨年の9月議会で予算を増やすこと、相談枠を増やすことを問題提起していました。

## 踏切周辺の点字ブロックの整備予算を確保できました！

4年4月に大和郡山市内で起きた踏切での痛ましい事故があり、直後の6月議会で必要性を訴え、実現を求めていました。この3月議会で予算額1,150万円が決定し、まずは近鉄新大宮駅東側の踏切および周辺に設置されることになります。

予算化決定！

## 電池の回収ボックスがさらに増設！

令和元年に一時350万円にまで削減された事業予算は、数年にわたる訴えを経て、ようやく取り戻すことができました！



# よこいくんの取り組み

## 国へ予算要望！

昨年11月、地元衆議院議員・小林茂樹氏の先導で、仲川市長とともに、国土交通省と財務省に出向き、主に「八条町新駅周辺の拠点整備費用」「京奈和自動車道・大和北道路の道路整備費用」等の予算要望を行いました。



国土交通大臣政務官 清水真人氏に要望書を手渡す

## 街のムクドリ対策の研修

国への予算要望の合間、環境省を訪ね、鳥獣保護管理室長 東岡さんから「街のムクドリ対策」についてレクチャーを受けました。

農作物に被害を与えるムクドリ、市街地に群れをなすムクドリの対策として、毎年数万羽の捕獲を行っているものの、ムクドリの習性や追い払いの限界等により、根本的な解決方法がないのが現状のことでした。



環境省 東岡鳥獣保護管理室長との勉強会

## 菅義偉前総理との意見交換！

昨年秋、小林茂樹環境副大臣の政経セミナーの講師として奈良へお越しになった 菅義偉前総理。セミナーに先立って私たち地方議員との意見交換の場を持っていただきました。

「新型コロナウィルス感染症対策の終焉は国が責任をもって行う」「二度と総理大臣はやらない」「自分が総理在任時に決めたことは必ず実現する」等、本音トークも飛び出しました。市議出身（横浜市議）の総理大臣で、常に地方の発展をお考えになっている方だと感じました。



菅前総理と横井

## みなさんのところへ、出かけて行きます！

政治のことをわかりやすくお話しします。それが、横井雄一の「出前トーク」です。



まずは、お電話ください！

横井雄一の電話番号  
いごくわ よこいくん  
**090-1598-4519**まで

よこいゆういち 検索